

那須連峰縦走報告

【山行日】平成 27 年 11 月 11 日

【参加者】CL 辻本 鈴木(忠)

【行程】県営駐車場～峠の茶屋跡避難小屋～朝日の肩～三本槍岳～北温泉分岐～朝日の肩～朝日岳
～峠の茶屋跡避難小屋～県営駐車場

10 時 15 分西千葉駅集合とし、やっとの思いで千葉を後にした。2 時間半ほどで那須高原友愛の森に着き、テントを設営してシェラフに潜り込む。空には満天の星が煌いていた。

5 時起床、6 時 15 分県営駐車場に向け、車を走らせる。駐車場は少し凍結していた。風が吹いてくる。鈴木さんは雨具を着込み防寒体制だ。登りだすと段々と風がきつくなり、峠の途中では雪混じりの強風となる。私もさすがに寒くなり、雨具を着用した。40 分ほどで避難小屋に着き、ひとまず休憩を取る。先行していた単独の女性は我々と同じコースを行くつもりだったようだが、諦めて別コースをとった。我々もどうしようかと考えていたが、朝日岳の方から降りて来るパーティーがあり、登山道は凍結していないとの情報を得て、行けるところまで行くことにした。稜線は強風が吹き荒れている。朝日の肩までの岩場は、雪の付いたところは踏まないように、用心をしながら通過。朝日岳はガスっていて見えないので登らずに三本槍へ歩を進めた。縦走路は霧氷で美しいが、景色は無彩色。

熊見曾根、1900mのピーク、清水平と過ぎ、北温泉分岐で休息をとる。ここから三本槍までは一投足。ガスで眺望がきかないが、とりあえず山頂で記念撮影。1916mの山頂は立ち止まると寒い。

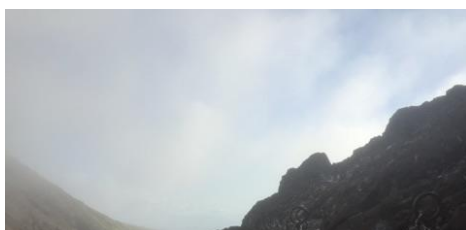
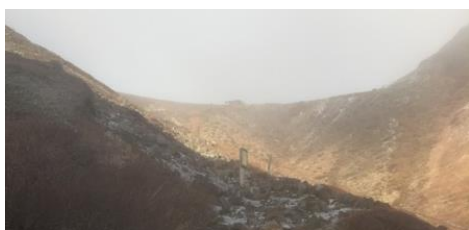
大峠までの登山道は藪になっていて面白そうだったが、鈴木さんの様子を考えると、リターンするのがベストと判断。ピストン山行に切り替える。引き返す道は登山者と会うようになり、この縦走路の人気なの分かる。朝日の肩で折角だからと朝日岳に登る。山頂では風を避けた岩場で、昼食とする。その時一瞬だが雲が取れ、足下に那須平原が広がった。やはり山のご馳走は眺望だ。

食事を済ませ朝日の肩から鎖場を通過し、峠の茶屋跡避難小屋に戻った。冷えた体をテルモスのドリンクで温め、下山の準備をする。小屋は登山者が入れ代わり立ち代わり入ってくる。それにしても外人さんが多い。高尾も奥多摩も那須もアルプスも、北海道から沖縄まで日本国中の山が国際色豊かになった。下山は駐車場まで 30 分程。無事山行を終え北温泉を楽しみ、帰葉の途についた。

【俳句】

峠越ゆ時をり雪の無彩色

凧や峠の路に暴れをり



避難小屋が見えてきた



雲中の朝日岳

鎖場に行く



霧氷

朝日の肩



三本槍岳山頂